

設立40周年記念 (県造園協だより第70号)

40年のあゆみ



新潟県造園建設業協会

新潟県造園建設業協会

〒950-0951 新潟市中央区烏屋野438番地

電話 025 (282) 4460

FAX 025 (282) 4461

四十年のあゆみ



目 次

あ い さ つ	新潟県造園建設業協会 会長 新 保 正 文……………	2
	新潟県農林水産部治山課 片 桐 明 男……………	3
	新潟県職業能力開発協会 会長 山 口 均……………	4
	歴代会長 大 橋 保 男……………	5
40周年記念表彰受賞者	……………	6
協会の概要	……………	7
組織運営図	……………	8
協会のシンボルマーク・協会スローガン・構成支部・部会の平成25年度事業計画	……………	9
会員数、事業費等の推移	……………	10
平成20年～24年のおもな事業	……………	11
総 務 部	……………	12
指 導 部	……………	13
経 営 研 究 部	……………	14
支部の活動と現況報告	……………	15

協会設立四十周年を迎えるにあたり



新潟県造園建設業協会

会長 新保正文

本日、御来賓の皆様をお迎えして新潟県造園建設業協会設立四十周年記念式典を開催できる事はこの上ない喜びであります。会員を代表してお礼を申し上げます。

昭和四十九年の設立から四十周年と言う歳月が過ぎ、この喜ばしい記念式典を迎えられたのは、諸先輩方多くの方々が続けて来られた努力の賜物であり、その一員として末席に加わり協会運営に携わっている事に感謝申し上げます。また、新潟県農林水産部治山課をはじめ、新潟県職業能力開発協会、一般社団法人新潟県公園緑地協会、一般社団法人新潟市造園建設業協会の方々からは、当協会運営に際し多大な御指導、ご協力を賜り誠に有難う御座います。今後も変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年十二月の衆議院選挙によりまして民主党から自民党へと政権交代がありました。民主党政権下で行われた事業仕分け等により、無駄が省かれ効率主義による様々な予算の削減が起きました。全てでは有りませんが、無駄は悪い事ばかりでは無いように考えています。我々が携わる造園は緑を主とした幅の広い事業であり、経済効率から考えれば一見無駄なようにも捉えられる所が有ります。しかし、木々は家や建物を引き立て豊かな空間を演出し、木々の成長により更に豊かな生態系を伴った空間へと変化して行きます。このような空間は人々に感動を与え、心に潤いを与える事ができます。

本日の記念講演の演題でもあります「旧斎藤家夏の別邸」庭園はまさにこのような空間ではないでしょうか。加賀田組社長が半世紀以上にわたり居住し、建物と庭園を維持管理してきた事が今日のあの素晴らしい庭園を残したのです。木を植えるだけでなく、その成長に合せ維持管理の手を加える事が大切なのです。木だけではなく垣根などの工作物も古くなるにつれ趣と奥深さが出てきますが、更新する事も必要となるでしょう。我々新潟県造園建設業協会の会員は、質の高い技術、技能、そして知識を持って顧客と接し、そこで行われる仕事、作業には、これらを遺憾なく発揮して行かなくてはなりません。会員の皆様は既に実現できていると思いますが、これで終わりと言う技術、技能、知識は無いと思えます。協会が行っています総務部、指導部、経営研究部それぞれの事業は、まさにこれらの向上の為の物です。

今後とも、会員の親睦、技術・技能の継承、造園の社会的地位の確立の協会スローガンの元、会員に役立つ事業を行って参りたいと思えます。

また本日、永年勤続者表彰、技能卓越者表彰を受けられる方々、誠におめでとうございます。組織と言うものは、様々な役割を行う人々の集団ではないでしょうか。長年その組織の一員として、自身の為は元より組織の為に努力を続け今日に至った功績は多大な物があると思えます。表彰を受けられる方々の雇用者である会員の方々におかれましては、企業努力を続けられ、経営を継続されている事に敬意を表します。また、技能卓越者表彰を受けられる方々は、技能検定一・二級で一地位二位を取られた方々です。確かな技術と技能を持ち合わせ、今後とも自身と会社の為に努力を続けてほしいと思います。

簡単ではありますが、新潟県造園建設業協会四十周年記念式典の御挨拶とさせていただきます。

創立四十周年によせて



新潟県農林水産部治山課

片桐 明 男

新潟県造園建設業協会の創立四十周年を迎え、心からお祝いを申しあげます。

また、日頃から本県の森林・林業行政の推進につきましても、特段のご理解とご協力をいただいておりますことに御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和四十九年に設立以来、造園業界の発展と県土の緑化推進に精力的に取り組まれ、潤いのある生活環境の維持・保全にご貢献いただいていることに感謝申し上げます。次第であります。これもひとえに歴代役員並びに会員皆様の熱意とご尽力の賜と、心から敬意を表するものであります。

県においても重点施策として、「災害に強い森づくり」を進める中で、森林の持つ土砂流出の防止や、水源涵養の働きなどの公益的機能を強化していくとともに、「県民参加の森づくり」の推進を図り、社会環境における森林・緑化の重要性を広く県民に理解していただくため、普及啓発に努めているところであります。

このような中、来年の春季に「第六十五回全国植樹祭」が、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、昭和四十七年に旧黒川村の胎内平で開

催されて以来、四十二年ぶりに本県で開催されます。中越大震災からの復興十周年にあたることから、中越大震災の際に全国からいただいたご支援に感謝するとともに、森の力を未来へ引き継いでいくため、大会テーマを「未来へつなぐ森の力―復興から創造へ―」として、長岡市をメイン会場に、被災地の小千谷市、魚沼市、十日町市においても記念植樹を行う計画であります。

企業や森林ボランティア、緑の少年団など、多様な県民参加による「にいがた緑の百年物語―木を植える県民運動」の取り組みを推進し、新潟らしい森林づくりや緑化活動を全国にアピールしてまいります。

貴協会からもこの全国植樹祭の開催に当たり、ご理解とご協賛いただいていることに重ねて感謝申し上げます。

四十周年の節目に当たり、貴協会がこれまで以上に緑化推進による快適な環境づくりに貢献され、広く県民に愛される業界として邁進されますとともに、一層のご活躍を大いに期待しております。

終わりに、貴協会の益々のご発展、並びに会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

設立四十周年を御祝いたします



新潟県職業能力開発協会

会長 山口 均

新潟県造園建設業協会の創立四十周年、大変おめでとうございます。心からお祝い申し上げますとともに、これまで永きにわたり、「造園技術技能の向上を図り、社会的要望に応えよう。」などのスローガンを掲げ、生活環境整備の促進と緑化事業の推進等に御尽力され、大きく貢献されてきたことに対し、深く敬意を表します。

また、新潟県造園建設業協会の皆様には、日頃から当協会の事業に格別のご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

特に、当協会の主要事業である技能検定試験につきましては、昭和四十九年の造園職種の新設以来、検定委員をお願いしており、公平・適正・円滑な実施にご協力いただいております。

また、貴協会の熱心な技能向上や調査研究の取組などにより、平成二十四年度までに約八百人の一級技能士が誕生し、それぞれの事業所等で活躍されているとともに、後進の指導育成にも力を注いでおられます。

更に、県、新潟市、長岡市、上越市などの共催で「にいがた・技のにぎわいフェスタ」を開催しておりますが、毎年、積極的に参加

していただいております貴協会の「冬囲いの男結び講習」や「竹とんぼ製作体験」を始めとする、多数の参加団体による「ものづくり体験コーナー」、熟練技能者による「実演・展示」など「ものづくり」について、大勢の親子連れなどの皆さんから、身近に体験・見学してもらい、大好評をいただいております。

若者のものづくり離れや熟練技能者の大量退職、高齢化などにより、我が国の優れたものづくり技能の円滑な継承が危惧されていきますが、私ども職業能力開発協会といたしましては、今後とも、「ものづくり」の重要性や技能士の地位向上などについて、広く県民にアピールするための取組に力を注いでまいりたいと考えておりますので、皆様方の御支援、御協力を御願いたします。

最後に、貴協会並びに会員の皆様のますますの御発展を御祈念申し上げます。御祝いのごあいさつとさせていただきます。

造園業の魅力と協会の方向性



歴代会長 大橋 保 男

協会設立四十周年の大きな節目を迎えるにあたり、心よりお喜び申し上げます。私は二十歳の時、アメリカでの農業研修を終えカリフォルニアから帰国、夢を描きながらエデンの園、楽園を創ろうと第一段階として、今の秋葉区金津山の土地10アールの開墾、ツツジの栽培と販売をしていました。四十五年前の話になります。そのかわら、おじさんの庭仕事の手伝いで、生計を建てていました、造園との出会いです。

私が二十五歳、四十年前にあるハウスメーカーとの出会いがあり、建売住宅の植栽工事、外構工事等の仕事を請け負うことになりました。仕事を順調に進めるために、株式会社を設立する運びとなりました。数年後、仕事も軌道に乗り、社員の未来をもっと良くするために、社会保険の充実、高齢でも仕事のできる場所の確保を考え三十三年前、新潟で初の郊外型園芸店、グリーンランドエデンを姥ヶ山に立ち上げました。その間、色々な出来事を経験させていただきました。県庁正面玄関の元請け植栽、道路公園米山サービスエリアの造園、路傍植栽、ゴルフ場の工事、工場緑化、関東圏冬場の出稼

ぎ公園作り、等々です。

造園建設業協会の設立時も組合員としての加入、各種技能試験への参加、資格の獲得、新津支部長、又当協会の会長も六年間経験させていただきました。結婚式も当協会の設立と同じ四十九年です、本当に早いものです。又、今年は私にとっても節目の年になりました。三十三年間営業していた、姥ヶ山の店を国土交通省の国道四十九号線改良工事に伴い、江南区役所の近くに移転することになり、春には移転を終えることができました。

この間に私も六十五歳になり、定年の仲間入り。第一線より退き、長男に仕事を渡し、第二の人生を楽しみたいと考えております。でも四十五年間たずさわってきた造園の魅力、技術の継承、そして植物の社会的貢献、組織の重要性、人間的哲学の研究を忘れてはならないと考えています。これからも大勢の人が参加し、楽しむ協会運営が出来る事を期待しています。

◎ 40周年記念表彰受賞者

【功労者 1名】

氏名	会社名	支部名
遠藤 太一	遠藤庭園創作所	新発田

【造園工事作業技能競技大会成績優秀者 2名】

年度	級別	氏名	会社名	支部名
H20	1級	小柳津 貴人	遠藤庭園創作所	新発田
H21	1級	外山 道隆	(株)鈴木造園	長岡

【永年勤続者（同一事業所15年以上勤務、他の模範者） 26名】

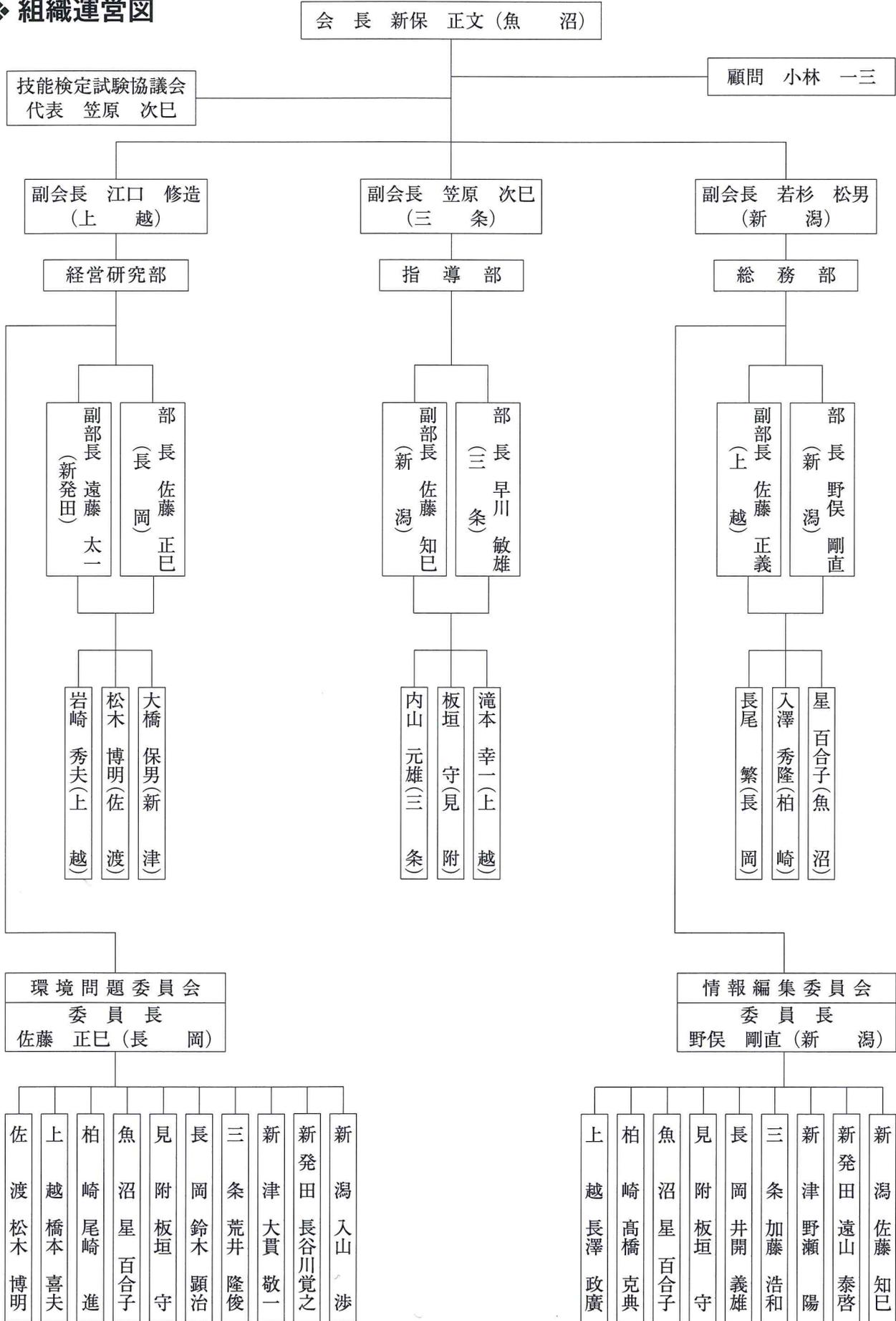
氏名	会社名	勤続年数	支部名
清水 豊	(株)青花園	30	上越
宮腰 和明	〃	16	上越
太田 悟	(株)弘花園	40	上越
高橋 克哉	佐藤造園(株)	15	上越
田辺 照夫	(有)秀造園	19	上越
伊藤 幸子	笠原造園	18	柏崎
水品 清市	(株)恒樹園新潟	30	魚沼
柳田 敏	(株)和光造園緑地建設	35	魚沼
山村 美樹夫	(有)万松園	31	長岡
星 建	〃	22	長岡
宮島 信行	(有)室橋造園	37	長岡
鈴木 正	(株)鈴木造園	36	長岡
坂詰 正巳	〃	22	長岡
中沢 順二	(有)中沢宝樹園	21	長岡
高野 勝	〃	17	長岡
鷲頭 一也	(株)宮川苑	19	長岡
小川 隆行	〃	19	長岡
鏑城 敏明	(有)早川愛樹園	21	三条
宮田 幸広	〃	17	三条
坂上 泰輔	(株)高重園	19	新津
福地 克典	(有)福樹園	17	新津
金山 秀樹	牛歩園緑化(株)	35	新潟
真船 紀夫	後藤石水造園(株)	30	新潟
梨本 正則	〃	17	新潟
柳澤 文彦	〃	15	新潟
横木 修一	横木造園(株)	36	新潟

❖ 協会の概要

名 称	新潟県造園建設業協会
設立年月日	昭和 49 年 3 月 23 日
代 表 者	会長 新 保 正 文
目 的	本会は、造園技能者の技能、技術および知識の向上、社会的、経済的、地域的な造園事業の健全な発展をはかり、生活環境整備促進と緑化事業の推進等に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑化事業の推進、緑化意識の高揚と啓蒙 2. 造園に関する情報、資料の収集交換 3. 造園技術者の技術および知識の向上を図るための調査研究 4. 講習会の開催 5. 造園業に係る経営の合理化に関する調査研究 6. 関係諸団体との情報交換、連絡提携 7. 会報、機関紙等の発行 8. その他前条の目的を達成するために必要な事業
会員の資格	<p>正 会 員 新潟県内において造園業を営み、本会の目的に賛同し入会した者</p> <p>賛助会員 本会の目的に賛助する個人および団体</p> <p>名誉会員 本会に功労のあった者又は学識経験者で総会において推薦された者</p>



❖ 組織運営図



協会のシンボルマーク



協会スローガン

1. 造園の技術技能の向上を図り、社会的要望に応えよう。
2. 造園業経営の体質改善を図り、業界の自主性を社会的に確立しよう。
3. 組織の強化を図り、活力ある造園業界を育てよう。

構成支部（会員数 111社）

支部名	会員数	会社名	支部長名	役職名
新潟	10	牛歩園緑化(株)	野俣剛直	総務部長
新発田	4	遠藤庭園創作所	遠藤太一	
新津	11	(有)グリーンランドエデン	大橋保男	
三条	16	(有)早川愛樹園	早川敏雄	指導部長
長岡	22	(有)万松園	佐藤正巳	経営研究部長
見附	3	(有)板垣造園緑花	板垣守	
魚沼	9	(株)星造園	星百合子	
柏崎	8	(有)秀庭園事務所	入澤秀隆	
上越	24	佐藤造園(株)	佐藤正義	
佐渡	4	(有)松木園芸	松木博明	

部会の平成25年度事業計画

- | | | |
|-------|--------------------------|-------------------------------|
| 総務部 | ・総会、講演会の開催
・ホームページの充実 | ・研修視察（佐渡支部担当）
・造園協だより年1回発行 |
| 指導部 | ・技能検定予備講習会 | ・冬期講習会の実施 |
| 経営研究部 | ・一日造園大学の実施 | ・竹切ツアーの実施 |

◆ 会員数、事業費等の推移

年度	会員数	年間予算額	年会費	会長名	副 会 長 名		
					総務部	指導部	経営研究部
昭和 49	177 名	2,570,000 円	6,000 円	出雲 慶一	坂井 輝吉	斉藤 孝一	野俣 正之
昭和 50	192 名	2,777,500 円	12,000 円	〃	〃	〃	〃
昭和 51	230 名	4,619,882 円	14,400 円	〃	〃	〃	〃
昭和 52	256 名	7,510,000 円	18,000 円	霜鳥 節三	〃	〃	〃
昭和 53	265 名	10,818,000 円	18,000 円	〃	〃	〃	〃
昭和 54	275 名	8,883,000 円	18,000 円	〃	佐藤平三郎	〃	〃
昭和 55	274 名	9,350,000 円	18,000 円	〃	〃	〃	間 忠明
昭和 56	270 名	8,590,000 円	18,000 円	〃	〃	〃	〃
昭和 57	264 名	8,580,000 円	18,000 円	間 忠明	〃	〃	川崎 甲英
昭和 58	263 名	8,500,000 円	18,000 円	〃	〃	〃	〃
昭和 59	258 名	8,620,000 円	18,000 円	〃	〃	江口 修治	〃
昭和 60	245 名	9,110,000 円	24,000 円	〃	〃	〃	〃
昭和 61	233 名	9,772,000 円	24,000 円	野俣 正之	室橋 二郎	〃	竹内 嘉造
昭和 62	228 名	8,848,000 円	24,000 円	〃	〃	〃	〃
昭和 63	221 名	7,489,000 円	24,000 円	室橋 二郎	竹内 嘉造	〃	荒井 隆
平成元年	217 名	7,480,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 2	214 名	8,250,000 円	30,000 円	江口 修治	北条小太郎	野瀬 林蔵	〃
平成 3	207 名	8,507,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 4	201 名	7,320,000 円	30,000 円	〃	〃	伴内 忠紘	畠山 富夫
平成 5	200 名	7,290,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 6	193 名	7,220,000 円	30,000 円	〃	〃	尾身 幸雄	〃
平成 7	192 名	6,840,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 8	190 名	5,830,000 円	30,000 円	吉原 茂富	土沼 隆雄	〃	北条小太郎
平成 9	189 名	7,820,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 10	183 名	8,654,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 11	168 名	5,630,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 12	160 名	5,870,000 円	30,000 円	〃	島宗誠一郎	伊藤 春男	長谷川覚之
平成 13	160 名	5,740,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 14	157 名	6,160,000 円	30,000 円	大橋 保男	新保 正文	〃	〃
平成 15	152 名	7,400,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 16	144 名	5,310,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	内藤新一郎
平成 17	141 名	5,677,000 円	30,000 円	〃	〃	内藤新一郎	平山 正利
平成 18	139 名	5,415,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 19	135 名	5,150,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 20	129 名	5,830,000 円	30,000 円	新保 正文	志賀 孝 重泉 芳道	〃	伊藤 與一
平成 21	126 名	6,022,000 円	30,000 円	新保 正文	重泉 芳道	〃	〃
平成 22	125 名	6,180,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	今川 義英
平成 23	121 名	5,860,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃
平成 24	115 名	5,681,000 円	30,000 円	〃	若杉 松男	笠原 次巳	江口 修造
平成 25	111 名	6,930,000 円	30,000 円	〃	〃	〃	〃

各年 12 月末日現在

平成 25 年は 9 月末日現在

平成二十年～二十四年のおもな事業

(11)

年月日	記事	年月日	記事
平成20・1・19～20	冬期講習会 CAD初級・中級講習会 初級十五名・中級二十名 新潟地域職業訓練センター	平成20・10・24～25	研修視察 新発田支部 二十一名 三条支部 二十二名 新津支部 二十二名 上越支部 三十一名 魚沼支部 二十四名
21・3・7	松枯れの対策・予防講習会 五十四名 協会会議室	21・10・25～26	
22・3・26	マツ類の葉枯性病害の診断と防除 四十名 協会会議室	22・10・17～18	
24・3・24	洗い出し講習会 三十四名 新潟地域職業訓練センター	24・10・21～22	
佐渡竹切りツアー 20・3・2～3	二十九名	20・9・28	にいがた・技の にぎわいフェスタ 新潟 竹垣製作・竹とんぼ・水てっぽう製作 上越 竹垣製作・竹とんぼ製作 三十名 長岡 竹とんぼ作り・男結び 六十名 新潟 〃 〃 一二十名 上越 〃 〃 一二十名
21・3・1～2	三十名	22・10・3	
22・3・7～8	二十七名	23・11・6	
23・3・4～5	十五名	24・11・4	
一日造園大学 20・6・7	三条市 粟ヶ岳 十七名	24・10・26～29	技能五輪全国大会 長野県 当協会より二名出場 敢闘賞受賞
21・6・13	巻 角田山(灯台コース) 十一名	20・12・7	年末評議員・監事会議
24・6・23	長岡 旧三島町里山植物観察 八名	21・12・6	長岡支部 長岡 よもやま館 見附支部 見附 ホテルつるや 新潟支部 岩室 高島屋 三条支部 寺泊 ホテル飛鳥 新津支部 湯田上 ホテル小柳
全国植樹祭 20・6・15～16	北秋田市 北欧の杜公園	22・12・5	
24・5・26～27	山口市 阿知須きらら浜	23・12・4	

総務部

この五年間を振り返って

総務部長

野 俣 剛 直

私が総務部員となったのはちょうど五年前の平成二十年の時でした。この年から評議員となり、柏崎の小池さんが総務部長で、私が副部長の役をいただきましたが、評議員になったばかりで、右も左も分からない状態で、当時は皆さんに迷惑をかけたのではないかと反省しています。そして総務部一年目のこの年は三十五周年式典の年でした。それまで周年事業など出席したことなどありませんので、何をどうしているのやらわからず、右往左往していたように記憶しています。あれからあと二十二年からは総務部長として会の運営に努めてきました。ま

さか総務部長として四十周年式典を迎えるとは思ってもみませんでした。しっかりと運営をしていきたいと思っています。

私は評議員となつてから総務部一筋でやってきました。総務部の役割は、いわば縁の下の力持ち的なことだと思っています。総会の開催から、協会運営をスムーズに行うための手助けや、協会員同士の意思疎通や親睦を深めるための視察研修等ですが、なかなか思う様にはいきません。協会のIT化推進、また情報の発信源としてホームページも立ち上げましたが、まだまだ協会員の皆さん全員にはそれほど浸透していかないのではないかと思っています。まずは協会員の皆さん全員にパソコンを所有していただき、全員がネットでき取り取りできる環境になっていただき、ゆくゆくはペーパーレス化し、ホームページが情報の発信源となり、また情報交換の場としていけるよう努力をしていきたいと思っておりますので、皆さんの協力をお願い致します。



樹木・造園緑化

ISO 9001:2008
14001:2004
認証取得



石川緑樹株式会社

本社 〒950-2023 新潟市西区小新1305番地
TEL (025) 267-5588(代) FAX (025) 233-3750
E-mail: ryokujyu@helen.ocn.ne.jp
http://www5.ocn.ne.jp/~ryokujyu/

生産工場 〒953-0015 新潟市西蒲区松野尾字原畑3530
TEL (0256) 77-2130 FAX (0256) 77-2587

指導部

指導部長

早川 敏雄

新潟県造園建設業協会設立四十周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

平成二十二年から役員として出席させていただき、多くの方々との出会いをいただき、お金では得られない宝物をたくさん得ることができました。

そのような中、皆様のご協力をいただき指導部長を務めさせていただいている今日でございます。

指導部の活動内容としましては、第一に技能検定の開催、第二に冬期講習会の開催がございます。

技能検定では、ここ数年一級・二級の合格率が低く大変懸念しております。指導部では、少しでも合格率を上げることが目標に取り組んでまいります。

特に今年は、一級の課題が大

きく変わったため技能検定試験協議会の指導を受け、指導部を重ねてまいります。

また、要素試験に対しましては、地元の造園組合の方々のご協力を得て樹木の枝を集めていただき指導いたします。このような取り組みで、なんとか一級・二級の合格率を上げたいと考えております。

冬期講習会では、技能の習得及び向上を目的として開催しています。

松枯れが問題になり、二十二年に二回対策と予防関連の講習会を開催し、二十四年には、「洗い出し講習会」を新潟左官工事業協同組合の理事の方々に講師に迎え、ミニの箱を使用し、実技の指導をしていただき、受講者から好評をいただきました。

指導部では、これからも皆様のご意見ご要望をお聞きしながら、その時々にあった技能講習会を開催し一人でも多くの皆様から参加していただけるよう、より良い活動をして行きたいと存じます。



設立40周年おめでとうございます

政府労災上乗せ補償制度	最大50%引	第三者賠償責任補償制度
-------------	--------	-------------

新潟県造園建設業協会の皆様の業務を、リスクマネジメントで応援します。

株式会社プロビデンス 〒956-0842 新潟市秋葉区西島122 電話 0250-21-3550

経営研究部

経営研究部長

佐藤 正巳

新潟県造園建設業界設立四十周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

我々造園業界にも厳しい変革があり、新しい時代を迎えたかのように思われます。厳しい社会情勢の中、会員数が減少して来ています。これには我々協会も各協会員も変革をして魅力有る協会にして行く必要が有ると思います。またコンピュータ社会による情報のグローバル化、情報が溢れる中に有り、その情報を精査し、社会情勢にあった経営のやり方、お客様のニーズに沿った庭造りは今後の研究課題です。活動内容は、一日造園大学と佐渡の竹切りツアーを主に実施しています。

一日造園大学では、開催する場所の植物等の勉強会を目的とし、平成二十四年六月二十三日、

一日造園大学で、奈良場正一さんと言う植物のスペシャリストを講師に迎え、三島の里山を散策して自生植物を学習して参りました。

佐渡の竹切りツアーは、毎年三月上旬に実施し、朽ちて荒れていた竹林を整備して参りました。太い竹、朽ちて倒れた竹を撤去して下草を刈り、何年間も努力の結果、竹を間引きして細い竹の揃った一部綺麗な竹林となった姿を見せて頂きました。これは、毎年参加して下さる会員と佐渡支部会員の皆様のおかげだと感謝いたします。これからも会員皆様方の一日造園大学および佐渡竹切りツアーの参加をお願いします。



緑化用培養土

リサイクル商品シリーズ

- | | |
|-------------|----------------|
| 【商品】 | 【用途】 |
| ベストソイルP1、2号 | ……ポット・プランター用 |
| ベストソイルS | ……植栽用（現場土と混合） |
| ベストソイルF | ……吹き付・緑化基盤材 |
| モミライト | ……モミガラ堆肥・土壌改良材 |
| リサイクルマルチ | ……マルチング資材 |

製造元



株式会社 ホーネンアグリ

〒949-5414 新潟県長岡市飯塚1986番地
TEL (0258) 92-3890(代)
FAX (0258) 92-3350

支部の活動と 現況報告

《新潟支部》

情報編集委員

佐藤 知巳

新潟県造園建設業協会が四十周年を迎えられましたこと、お祝い申し上げます。

歴代の会長、役員の方々そして会員の方々には多くの困難とそれを乗り越えてきたご苦労があつて、今日のこの日を迎えたと、非常に感慨深く思っております。

新潟支部は協会スローガンにある「技術向上、社会貢献、業界発展」の三つに沿った活動をしています。

「技術向上、社会貢献」については、年に四回新潟市民を対象とした講習会を行っています。

樹木の剪定・冬囲いで二十人から四十人の市民の方々が参加



されます。各会社より講師として三〜四人に参加していただき、基本的な技術から簡単な応用テクニックまでを講習しています。各社、剪定・冬囲いとも特色があり市民の方はもちろん、講師として参加しても冬囲いの飾りの作り方などは勉強になります。

社会情勢と同様に造園業界を取り巻く環境も移り変わりが激しく、取り扱う内容も多様化しています。

新潟支部は「業界発展」のためにも勉強会や意見交換を積極的に行っていきたいと思っております。

設立40周年 おめでとうございます。

新潟県造園建設業協会新潟支部（10社）

石渡造園	石渡三次	(有) 神田造園	神田松太郎
牛歩園緑化(株)	野俣剛直 (支部長)	後藤石水造園(株)	後藤剛助 (役員)
佐藤造園	佐藤知巳 (副支部長)	(株) 真 緑	入山 渉 (役員)
北陸造園	猪股俊雄	横木造園(株)	横木啓二
(株) 若杉造園	若杉松男 (副会長)	(有) 渡辺弘翠園	渡辺 敦

日本キャタピラ **CAT**

304E CR

さらに使いやすくなった
Cat® ミニ油圧ショベル

キャタピラーウエストジャパン(株)
新潟支店 (025)266-9171



《新発田支部》

遠藤庭園創作所

磯部 由紀江

新潟県造園建設業協会の設立四十周年、お目出とう御座居ます。

私は仕事を始めて十年目になります。庭師になりたいと思っ
たのは、小学生低学年の時で花
や木が好きで、色々な所に庭を
見に行くのも好きでした。

高校は県立新発田農業高等学
校に進学、緑地環境コースを選
択し造園を学び、造園施工技術
者試験や、三級造園技能士、小
型車輛系建設機械など、様々な
事に挑戦しました。

その後、新潟工科専門学校環
境造園設計科でさらに二年間専
門的な事を学びました。

就職するに当って、女だと言
う事でなかなか決まらず挫折し

そんな時もありましたが、造園
をしたいと言う気持ちは男性よ
り有るという自信があったので
挫折感は大きかったと思います。

就職が無事決まり新しい人生
が始まった様でした。修行とい
う形で四年間勤め、その間玉掛
けや、小型移動式クレーン、技
能検定の二級・一級を合格し施
工管理の二級も取りました。

私は造園屋と言うよりは、庭
師を目指していました。庭作り
の仕事は、思っていたよりも大
変でした。今勤めている所では、
色々な技術、技法を使い庭作り
をしています。今迄で知らなかつ
た事なども学べています。

これからはもっと色々な事に
目を向けて違う事にも取り組ん
でいける様に努力し、向上して
行きたいと思っています。



～この街 大好き～

こ に た ん

造園緑化資材

エクステリア資材

左官資材

土木資材

〒959-2304 新潟県新発田市大伝 1047-1
TEL 0254-20-7699 FAX 0254-20-7700

《新津支部》

新津支部長

大橋 保男

協会四十周年を迎え、新津支部の現状を報告します。どの協会、どの支部も同じ方向に向かっていると思いますが、会員の減少、集会、行事、イベント等参加者の確保のむずかしさに直面しています。まして、支部の役員選びとなれば支部を脱会するとの発言も出、やむなく再度支部長を引き受ける事になった次第です。今までの支部、協会を支えて下さった諸先輩方に対しても、活動を止めることはできません。会員の希望、魅力ある会の提案などを聞きながら活動しています。いつものメンバー出席者で、今年は県外視察と総会を兼ねて福島方面に行ってきました。又、会員宅訪問と情報交換を企画し、食事会を行いました。十月五日土曜日には、会員バーベキュー大会も計画しています。協会本部の方でも、一

日造園大学、竹切りツアー、技能研修、各種勉強会と色々な計画がなされています。出席者には色々な補助を出し、出席しやすい環境を整備しているところでもあります。出席すれば、協会の良いところ、支部の必要性を理解していただけている現状です。第一歩が遠のいている現状です。もったいない!! 植物のすばらしさ、造園業の魅力、社会貢献、業界の発展のため、そして、後継者、新規就業者を育てるために少しでも力になればと職務を行っています。又、世の中が活況を呈して、造園業界が活き活きする様、色々な仕掛けを考えましょう。



新潟県知事許可(般-24)第31074号

緑化、外構工事一式

ゆとり空間のお手伝いをいたします

有限会社 福 樹 園

〒959-2226 新潟県阿賀野市野田1067番地

TEL 0250-68-3237 FAX 0250-68-5534

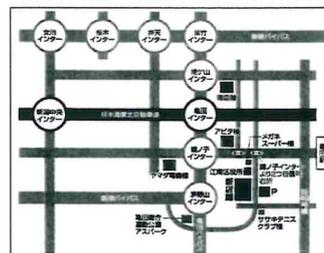
グリーンランド エデン

2013年春 移転しました!!

造園・ガーデニング材大量展示



〒950-0155
新潟市江南区泉町5-1-3



業者割引も有り

TEL(025)
286-6457
FAX(025)
287-1876
担当/大橋

《三条支部》

グリーン造景企画

刈屋 雅 樹

この度、新潟県造園建設業協会の四十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

私は大学で四年間ではありませんが、造園を学んできました。大学在学中に、私が特に感じたことが、美しい景観の必要性でした。今日、過ストレス社会と言われる日本で、自然災害や景気低迷に伴い、日々、人々の心は疲弊してきています。そのことから、心が癒やされる美しい景観は必要になって来るのではないかと考えています。

一八七〇年代、ニューヨークのマンハッタンには公園と呼べる場所がほとんどなく、膨張したニューヨークに公園が必要であると考えられました。そこで造られたのがセントラル・パークであり、人々の心のオアシスになっています。医者が人の傷や



病気を癒すならば、庭師は人の心を癒やすことができると思います。私にも、一日も早く皆様のようになり、立派な庭師になるため、日々努力していこうと思います。

最後に造園協会の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

園芸資材 石灯籠、丸太材各種、竹材、肥料 等

にいがた南蒲農業協同組合
保内緑花木センター

〒955-0021 三条市下保内1200-3
TEL (0256) 38-8184 FAX (0256) 38-2495

緑花木資材卸・各種造園請負

有限会社 西片植木園

新潟県燕市砂子塚 3870-1 TEL 代表 0256-97-4036 FAX 0256-97-4096

《見附支部》

板垣 守

新潟県造園建設業協会設立
四十年おめでとうございます。

新保会長をはじめ歴代会長職
と副会長、部長を務めてこられ
ました皆さまの長年協会運営に
対して、多大なるご尽力とご努
力に心から感謝を申し上げます
ともに、敬意を表します。

当見附支部は現在会員数三社
に減少してしまいました。

長引く経済不況、熟練スタッ
フの高齢化、後継者問題等、今
後の会社経営にあたり厳しい問
題を抱えたままの会社経営を余
儀なくされます。

そのような中で同業者間、新
潟県造園建設業協会を通して情
報交換し対応していくことが大
切であり必要と考えます。

今後の新潟県造園建設業協会
の発展と会員のご健勝を心から
ご祈念申し上げるとともに見附
支部の存続に微力ながら貢献し
ていきたいと存じます。

《長岡支部》

情報編集委員

井開 義雄

このたび新潟県造園建設業協
会が、設立四十周年を迎え、協
会四十年の歴史に尽力されまし
た歴代会長をはじめとする執行
部役員の皆様、また協会発展の
ために努力してこられました協
会員の皆様、そして協会運営を
サポートして頂いた事務局の皆
様の永きに亘るご功績に対し、
深く敬意を表し感謝とお礼を申
し上げます。

長岡支部におきましても、こ
の四十年の間世の中を取り巻く
景気変動や環境問題など、庭事
情は激しく変化し、昨今に置い
ても今まで以上に庭造りの内容、
取り扱う材料など多岐に複雑化
しております。長岡支部では、
この情勢の中で今後、意見交換、
勉強会など技能の向上と、時代
変化に沿う庭造りの方向へと、
組合員相互に取り組み進んでい
かなければいけないと思えます。
長岡支部の一年間の主要活動

としては、

毎月一回の例会

一月 総会・新年会

二月 視察研修

三月 青年部主催の親睦ボウ
リング大会

五月 長岡市主催で行われる
花いっぱいフェアに毎年

参加し、ミニ庭園を造り

庭造り提案コーナーを設
けています。今年度より

長岡支部青年部として青
年部が単独参加し来場者

から好評の声を頂きまし
た。

六月 青年部主催で行われる、
長岡市悠久山公園の剪定

奉仕活動は、三十年を超
える継続奉仕活動となっ

ております。

六月より八月下旬まで 教育
部主催で技能検定受験者

に対し実技試験前まで
に、五回〜六回の合同実

技練習を行っています。
受験者がいつでも個人練

習が出来るように、練習
場所・練習材料の確保を

しております。

十二月 忘年会

主要活動は支部組合員の若手
を育てようと、青年部を主体と

する活動内容を推進しています。
また来年度より青年部長の長岡

支部執行部役員へ昇格の議案と
して次期定時総会時に議案提出

が役員会で決定しております。
最後に、さらなる会員相互の

協力をお願いし、新潟県造園建
設業協会と協会員各位の、ます

ますの発展を心からご祈念申し
上げます。



《魚沼支部》

支部長

星

百合子

新潟県造園建設業協会が発足し四十周年を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。

私共魚沼支部は、新保会長はじめ各支部内では一番の広域の中、現在九社で活動を行っております。



二月末に自社の車庫でワイヤロープの編み方の冬期講習会を多数の皆様に参加して頂き行いました。また、今年は二年に一度予定しております研修旅行があり、三月に焼津方面に有意義なバスの旅に行ってきました。

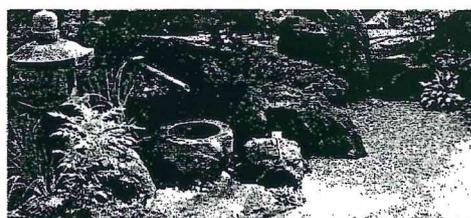
党支部も私が支部長になり二年目を迎えています。平成二十三年三月の震災の後は活動も休止のような時期もありました。大変な時こそ皆で協力して、全員参加で支部を盛り上げて運営していこうと新たな気持ちで迎えた二十五年度です。四月二十九日の湯沢花まつりの参加と、夏にはバーベキュー大会を計画しているところです。研修旅行を行わない年は総会時に一泊の予定で、その他年に一〜二回集まって親睦を深めています。造園業界ばかりではありませんが、厳しい状況が続きますが

会員とともに健康で前向きに活動していきたいと考えております。



“癒される庭”を、ご提案いたします。

造園・設計・施工・管理
庭の工事・植木のお手入れ
記念樹の販売・植樹など
承ります



星造園

魚沼市中原 377
TEL 025-792-1611

《柏崎支部》

情報編集委員

高橋 克典

新潟県造園建設業協会の設立四十周年、誠におめでとうございませう。

当、柏崎支部としましては支部活動として計画及び活動らしき事は行っていないのが現状であります。この度の県造協だより記念誌発行について支部会員一同集まり懇談致しました。

支部会としては勉強の為の研修会を、新潟県造園建設業協会主催の会に参加させて頂き「技術向上を目指す事柄から、これからは同協会主催の研修会は非常に参考になるので、ぜひ継続して開いて頂き参加させて頂きたい。」という結論に成りました。

先回、一番最近に開かれた研修で、石組講習が実際、私自身もこの講習に加わらせて頂きました。規模にすればミニサイズ

では有りましたが、扱う物自体が小さいと多角度から多くの人の視野が有るだけに、細部に渡り思考がこらされる事に気付きました。

実際、最寄りの現場では各、自社の作業者の観点で構成されて出来るだけなので、この点出来上がった組方が良いか悪いかは、以後の大勢の方々から観賞してもらったのちの感想が結果であろうと思ひます。

次回の石組講習会が開催される事に期待しております。

ところで、近年ガーデンニングが主となる洋風がブーム化しておりますが、この国は和の国、日本国であり古来より受継がれて来た「和の庭」の技法が有ります。

この、和みとやすらぎが様々に取り込む事が出来る「庭」を設けた宅地への宅地への魅

力を、新潟県造園建設業協会が母体となり、会員一丸となって配信出来れば良いなと思ひのは私だけでしょうか。
最後に、この度の設立四十周年記念にあたり追力された役員様方と関係委員様の御苦労に敬意を表し今後の新潟県造園建設業協会と、会員自業所が益々御発展される事を願っております。



約30年前の会員

設立40周年 おめでとうございます。

新潟県造園建設業協会 柏崎支部

有限会社 五十嵐造園
尾崎造園
有限会社 小池造園
有限会社 創風苑

株式会社 池忠造園
笠原造園
有限会社 秀庭園事務所
高橋造園

《上越支部》

支部長

佐藤正義

造園協会四十周年を迎えるにあたり、心よりお祝いを申し上げます。

不況、不況と叫ばれているときではありますが、造園業界も厳しい時代を迎えております。新しいお庭づくりもめっきり減り、毎年やっていた庭の手入れは一年おき、二年おきに。先代がなくなれば、「植木屋さん維持費にお金かかるから庭の木切ってください」こんなお客さんが増えました。世知辛い世の中になりました。

わが上越支部の活動といえば、新年総会と二年に一度の割合で行われる研修旅行です。今回の旅行は参加人数は少なかつたですが親睦を深める意味では最高の研修旅行でありました。人数、お金の面でも大変ですが、これ

からも続けていけることを願います。

上越支部のいいところなのかどうかわかりませんが、会員数が減らない点でしょうか。最近では、ほかの支部さんは会員数が減って困っておられるようですが、わが支部は増えています。先代の役員の方々、会員の皆様の努力のためものです。

上越支部の青年部は、部長と二十五人前後の会員を中心に色々な活動をおこなっています。つい最近も長野で石積みと金閣寺垣の講習をおこないました。この後、軽トラックの荷台に坪庭を作り、新たなお客さん獲得に奔走しています。年に一度のボーリング大会、技能検定の講習会等々、技能向上、親睦に日夜取り組んでいます。この人たちが県造協、上越支部の近い将来を支えてくれることを願い、協会がこの先五十年、六十年と続くことを願っています。

県造協上越支部

県造協設立40周年おめでとうございます

伊藤造園	(株)青花園	(有)北陸園芸
(有)岩崎造園	造園フルカワ	松永山松園
(株)英香園	(有)滝木造園	(株)嶺村建材工業
(有)加藤造園	(株)長竹園	丸山隆光園
(有)頸城園芸	(有)徳永庭山園	山本庭樹園
(株)弘花園	(有)中部造園	(株)旅人木
(有)斎藤商事	ニッカ興産(株)	(有)渡辺香寿園
佐藤造園(株)	(株)橋本園芸	
(有)秀造園	平山昭造園	

石積み勉強会の感想

上越支部 青年部
塚田 滉大

二月二十八日～三月二日の三日間、長野県で石積みをさせていただきました。僕は、去年高校を卒業して、造園業で働きもうすぐ一年がたちます。今回の石積みは造園建設業協会 上越支部 青年部のみなさんと一緒に仕事だったので正直、不安と緊張でいっぱいでした。

今回は崩れ積みでした。うまく積めなくても、一から方法を教えてもらいました。出来上がりを見て、石積みは積む人によってまったく違います。その違いが表れていて、楽しかったです。

竹で金閣寺垣を作りました。竹のきれいな割り方やシユロ縄での飾り結びなどたくさん学べた三日間でした。青年部のみなさんも優しく、とても楽しく学ばせてもらいました。僕も今回の勉強会を参考にして普段の仕事に生かして行きたいです。青年部のみなさん、ありがとうございました。

◆金閣寺垣根講習会



<エクステリア資材の総合商社>



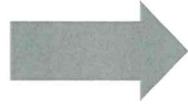
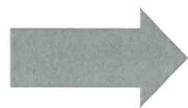
株式会社 嶺村建材工業

〒943-0155 上越市大字四ヶ所294-18

TEL:025-520-8857 FAX:025-520-8867

E-mail: minemura-k@theia.ocn.ne.jp

◆石積講習会



《佐渡支部》

佐渡支部長

松木博明

佐渡ヶ島の近況

「自然豊かな島・佐渡」が決まり文句のように言われ続けてきたこの島の今の状態は、確かに緑豊かでは有るものの、人との接点である里山の荒廃が目を見え、うばかりの惨状となっています。田畑にまで浸食する竹、紅葉と見まがう大規模な枯れ木の被害、人の進入を大挙して拒否する藤の繁茂等、今の「佐渡の自然」はとても人との共存とは遠い物となっています。

その中において一筋の光となってくれているのが新潟県造園建設業協会主催の「佐渡竹切りツアー」の存在です。継続は力と言う様に、年々竹の伐採と更新が進み、今年になってようやく三、四寸竹の切り出しに着手する事になり、悲願でもあった小径竹の生産工場のめどが立ち



ました。また新たな取組みとして官民双方の協力により夢の肥料「竹パウダー」の生産を開始することになりました。これにより今まで邪魔者扱いされてきた竹が田・畑、しいては佐渡の自然にやさしい有機肥料材へと変身する事になります。

「厄介者を宝物に変える」この事こそが里山再生のカギを握るように思われます。

そしてこの佐渡ヶ島に住む我々は豊かな自然と共に共存、共栄する道を考えながら今後の佐渡を見守り続けて行きたいと思えます。

編集後記

新潟県造園建設業協会設立四十周年おめでとうございます。

今年度は通常の県造協だよりの編集後記と四十周年のあゆみでは総務部長として、そしてこの編集後記と三回文章を書かせていただきました。日頃文章を書くことなどほとんどないので、原稿用紙一枚以下の文章を書くにも四苦八苦してしまいました。今回の四十周年のあゆみや県造協だよりの発行に際しては、各支部情報編集委員の皆様及び会員の皆様の御協力をいただき感謝いたします。皆様の御協力なくしては県造協だよりの発行はできないということを改めて気づかされました。これからも皆様のご協力、ご指導の下、より充実した冊子を発行していきたいと思えます。ありがとうございました。

情報編集委員長

新潟支部 野俣 剛直

設立40周年記念(県造園協だより第70号)

40年のあゆみ

編集・発行 新潟県造園建設業協会
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野438番地
TEL 025-282-4460 FAX 025-282-4461

発行日 平成25年10月14日

印刷・製本 有限会社東京プリント社
〒951-8141 新潟市中央区関新1-2471
TEL 025-233-2211 FAX 025-265-4858

